

イベントへの参加学生の感想

栄養クリニック開設の目的のひとつ、「実践力のある管理栄養士養成のために、在学生在が様々なイベントに参加して、管理栄養士としての資質の向上を図る」という点から、栄養クリニックのイベントに本学食物栄養学科の学生の参加を積極的に受け入れている。大学では社会のニーズに応じた実践力を備えるために、一般の方が健康や栄養に対してどのような考えを持っているか、個人の嗜好や経済面を考え、専門的な用語を使わず相手にわかりやすく説明する力など身に付けなければならないことはたくさんある。

栄養クリニックで開催される様々な事業では、実際に管理栄養士が一般の方へ情報発信する姿を見ることが出来る。学生がスタッフと一緒に参加することで、どのような伝え方をすれば伝わりやすいのか、どのような情報に一般の方は興味を示すのかなどを学び、それぞれの現場で自身で課題を見つけ、対象者側に立った目線での食事指導や栄養指導ができるキャリアを身に付けて欲しいと考えている。

参加学生の感想

様々な年代の方との接し方、体組成・骨密度測定の測り方などを学びました。栄養相談を見学して、その場で結果をみて的確な指導ができる力を身に付けたいと思いました。

(1 回生/大学祭における栄養アセスメント体験)

骨密度に関して全くの無知の状態であったので、測定しながら自らの理解を深めることができました。また、先生の横で栄養指導を見学させていただいて管理栄養士の仕事に肌で触れることができました。

(3 回生/大学祭における栄養アセスメント体験)

栄養クリニックのイベントは長時間の活動であるにもかかわらず、学生たちは終始笑顔で積極的な態度で好感が持てる対応ができていた。今後、管理栄養士として携わるさまざまな事業の中で、自ら課題を設定し、企画・立案から実施、評価・課題解決などの場面に役立つ体験ができたと思われる。特に、栄養相談の知識・技術は大学の授業で学ぶだけではできないことがわかり、期待以上の収穫であったようである。在学中に栄養クリニックの行事に積極的に参加し、各自の能力を培い、社会のニーズに応えられる実践力を身に付ける教育の場として今後も栄養クリニックを活用して欲しい。

学生の参加状況 事業名 (人数)

料理教室・学習会 (21)、附小ランチ (500)、大学祭における栄養アセスメント体験 (27)、東山区地域連携事業高齢者の骨密度測定会 (30)、中信ビジネスフェア (5)

(須貝さゆみ)

